


〈解答〉

- ① 1 (1) 三重県 (漢字)
 (2) 信濃川
 (3) ウ
 (4) 記号：エ 理由：〔例〕水力発電所は、山間部につくられることが多いから。
 2 イ
 3 ア

配点 ① 1 (1), (2), (4)理由は各2点, 他は各1点 10点満点

〈解説〉

- ① 1 (1)  は、山形県、三重県、鳥取県、福岡県である。三重県の県庁所在地は、津市である。
 (2) Xの越後平野は、新潟県中央部、信濃川・阿賀野川下流域に広がる平野である。全国有数の水田単作地帯、穀倉地帯となっている。
 (3) 東シナ海は、朝鮮半島、九州、南西諸島、台湾に囲まれた海で、大部分が浅い大陸棚からなり、漁業がさかんである。
 (4) 水力発電所は、ダムに貯えた水を高低差を利用して勢いよく流すことでタービンを回転させて発電するため、山間部につくられることが多い。アの火力発電所は、燃料の輸入に便利で工業地域や大都市に近い臨海部、イの風力発電所は、東北地方や北海道に多くつくられている。ウの原子力発電所は、人口密集地から離れた海岸部につくられている。
- 2 製造品出荷額が最も多いことや機械の割合が最も高いことからエが中京工業地帯、関東内陸工業地域は自動車や電気機器などの工業がさかんであるから機械の占める割合が高いイ、ウは臨海部で化学工業がさかんな京葉工業地域、アは金属とせんいの割合が比較的高いので阪神工業地帯である。
- 3 和歌山県は、温暖で平地が少ないのでみかんの栽培がさかんである。乳牛は、冷涼な北海道地方や高原が広がる栃木県、熊本県、岩手県などで飼育がさかんである。